

## 8月6日 日曜日

### 紹介ゲーム（初対面の人たちと打ち解けるための自己紹介を兼ねたゲーム）

一人一人にカードが配られ、それに名前と出身地、自分について(趣味,特技,ペットなど)10項目を並べたリストを作成する。次に異なる国々同士でグループに分け、自己紹介しあう。

### リーダーシップについてのグループ発表

グループごとに聾のリーダーを選び、そのリーダーについて紹介。

アメリカ 聴覚障害者のためのサービスを提供する団体 CSD の創設者、Ben Soukup の紹介

Gallaudet 大学初のろう者学長、I. King. Jordan の紹介

ロシア 学生グループのリーダーAlexander の紹介 研修生 4 人、PEN のリーダーの紹介

フィリピン フィリピン聾啞協会会長、Raphael Domingo の紹介。

日本 さまざまな分野で活躍した聾者、筑波技術大学の高村真理子先生の紹介。

中国 発表なし

## 8月7日 月曜日

### 『聴覚障害者のリーダーを育てる』 聴覚障害者である Hurwitz 夫婦の人生経験

二人はボランティアや大学での関わり等を通して様々な経験を積み、多くの人と出会った事によってリーダーシップ能力が養われた。その結果 Alan は NTID 最高経営責任者、Vicki は聴覚障害女性連合会長の地位を手に入れた。「チャンスを常に探し続け、逃さないように。また、自分や他人の力を分かち合いなさい。」

## 『効果的なコミュニケーション能力と交渉技術の向上』 5種類のリーダータイプがある

- ・強制的・威嚇的で、勝ち負けの二極的思考である「競争」タイプ
- ・引っ込み思案、無視、生産的な会話をしたがらない「回避」タイプ
- ・譲歩、言いなり、その状況を維持したがる「順応」タイプ
- ・限られた想像力と不満足な同意で短期的な手早い解決策に焦点を置く「妥協」タイプ
- ・調停、全員のニーズと目標の達成を目指して解決に時間をかける「協力」タイプ

5カ国内でどのリーダーが望ましいか討論。ロシアは「競争」、アメリカは「回避」、中国は「順応」、フィリピンは「妥協」、日本は「協力」と、考え方それぞれの国の思想が表れていた。

実際には、対立の原因や状況に合わせてこれらの対立反応を使い分けることが出来る冷静的な判断力が重要である。

## 『リーダーシップと多様性』( グループ討論 )

コミュニケーションの多様性、多様性の定義などについて国ごとに討論→リーダーは、人種、宗教、言語、性別、世代、文字など様々な多様性に直面しても動じない心構えが必要である。

8月8日 火曜日

## 『健聴者が抱く聴覚障害者に対するイメージと実態』 Patricia M Decaro

周囲の人々は、知らず知らずのうちに「聴覚障害者には何が出来て、何が出来ないのか」というイメージを持ってしまっており、それが聴覚障害者自身にも強く影響を及ぼす。それを改善するにはどうすればよいかを注意深く考えなければならない。

『目標設定と達成に向けて』 John Macko ( デフリンピック代表バレー選手 )

「A goal is a dream with a deadline 目標とは締め切りのある夢である」( 作者不明 )

目標を設定し、会議等で問題点や責任の所在をはっきりさせ、意見をまとめる力 ( フォローアップ ) →リーダーに求められる資質である。

〈目標設定方法〉

- 1.夢や目標のリストを作る。
- 2.友人等に自分の長所や欠点を聞き、自分に対して高く評価する所はどこかを考える。
- 3.夢や目標が、自分の能力や興味に結びついているか再検討する。
- 4.その目標の締め切りを決める。( いつまでにやるか決めないと、夢はただの夢でしかない。 )
- 5.目標達成に必要な物やアドバイスしてくれる人を箇条書きにする。

『イギリスの聴覚障害者について』 イギリス聴覚障害連盟

英国では、7人に1人が聴覚障害者を持っており、その数はおよそ 860 万人。( 日本は 33 万人 )

そのうち BSL ( イギリス手話 ) を使っているのは 5 万人。96% の聴覚障害者が BSL、ASL、キュードスピーチ、口話、トータルコミュニケーションなど様々な形でサポートを受けながらインテグレーションしている。ろう学校は全国で 37 校、その数は減少傾向にある。

8月10日 木曜日

「成功したろう指導者の特色」 A. Hurwitz リーダーシップについて

リーダーシップとは、間違いから学び、その経験を分かち合う機会を得る能力である。

救命ボードゲーム(リーダーシップの意味を探る)

海の真ん中に救命ボートが孤立している。救命ボートには定員限度があり、オーバーすると沈没してしまう。10人いるメンバーから誰を選ぶかについて各国から1人ずつ集めたグループで討論。

「ろう文化を発展させた指導者の歴史」P. DeCaro, V. Hurwitz

リーダーは、その仕事をなす最初の人物となる。大きな影響力(権力)を持つので、相手を傷つける事もある。自分の発言がどのような影響をもたらすのか考えなければならない。

Juliette "Daisy" Gordon Low

アメリカのジョージニア州生まれ。後のガールスカウト創始者。結婚式時のライスシャワーで、撒かれたお米が耳に入って中途失聴になってしまったと言われている。

Patti Lago Avery

聴覚障害者学生のカウンセラー、米国視聴障害者協会理事を担当。過去の経験を基に、自分の心に従う強さを学んだ。

学生カルチャー・ナイト（5カ国それぞれが自国の文化などを紹介）

日本 「折り紙」を紹介。

中国 天津大学の様子、学科の内容、学生の活躍をビデオで紹介。また、実際に書道を披露。

ロシア 国を全体的に捉え、地形、政治、国民的行事、普段の食事内容等をPPTで紹介。

アメリカ 通っている大学の様子や街の様子などをビデオとPPTで紹介。

フィリピン 歴史、そして普段の食事内容の紹介、伝統的な踊り等を披露。

## 8月11日 金曜日

『人間関係作りから職を得るまで』 John Macko 人間関係作りは人生の哲学

R-read 様々な本を読むこと。たくさん本を読むことで知識を深める。

I-interaction 人との関わりで交流を得る。問題を話し合うことで解決する。

L-learn 人から学ぶ。お互いの経験を話し合う。

L-listen 人の話を聞く。(世渡り上手は聞き上手)

「やります」と言ったことは必ずやり(有言実行)、約束を守れなかった時は素直に理由を言う。

求職方法には、求人広告・会社に直接履歴書を送る・職業案内所・コネなど様々な方法があるが、

一番多いのは人間関係で職を得る事(75～80%)つまり、人間関係が大切なのである。

『情報補償を得るための自助努力』 Alan Hurwiz

自助努力とは、成功するための自分のニーズを認識し、サービス提供の責任者である主要人物とコミュニケーションをとり、交渉する努力をする事である。しかし、その前に自己認識を高める必要がある(学習の仕方や優先事項・目標をふまえた上で必要な配慮を見極める)